**資料１－１**

**令和６年度第５回評価委員会における主な意見の概要**

**（中期計画の修正に係るご意見）**

1. 研究に関する目標を達成するための措置について
* 研究重視大学なのに、「研究」に関する計画が２項目と少なく、チャレンジ指標もない。対外的な見せ方としてよいか。
* 一方で国際力の強化の計画では、国際共著論文比率など研究に関わる指標が設定されているが、これらは研究に関する計画では評価が反映されないことになる。また、【27】財務戦略における「外部資金獲得金額」の指標についても基本的に研究により取り組むとされている。
* 国際力の強化や財務内容の改善で掲げられている研究に関わる指標については、研究の計画に再掲してはどうか。

他の項目に掲載されている、研究に関わるチャレンジングな指標も、研究の計画に再掲してもいいのではないか？

* ご意見を踏まえ、評価指標「【14-1】海外研究拠点の設置」、「【14-2】国際共著論文比率」、「【14-3】世界大学ランキング順位」、「【27-1】外部資金獲得金額」のうち、研究に関わる評価指標として「【14-2】国際共著論文比率」、「【27-1】外部資金獲得金額」について、研究の計画においても再掲することといたしました。
1. 医学部附属病院等に関する目標を達成するための措置について
【16】最先端で安全かつ良質な医療の提供
* 附属病院に関する【16-1】の評価指標について、一般的な医療機関で求められる病院の経営状況に関する指標にとどまっている。
* 中期計画の本文には、特定機能病院として、臨床研究と医療教育の２点について記載があるため、この臨床研究と医療教育について、定量指標が難しければ、定性指標であっても、指標に追加すべきではないか。
* ご意見を踏まえ、委員からご指摘のあった、特定機能病院として求められる臨床研究の取組状況の達成度を測る指標として、評価指標「【16-2】研究を推進するための人的・物的支援体制の構築による研究環境の向上及び臨床研究の拡大」、医療教育の取組状況の達成度を測る指標として、評価指標「【16-3】多様かつ高度な医療人養成に向けての各種実習プログラムの実施」を追加いたしました。
* いずれも定性的な評価指標となりますが、評価にあたっては、各評価指標の具体的な取組状況の報告等により、評価を頂きたいと考えております。